

令和2年度第1回府中市福祉計画検討協議会会議録

■日時 令和2年6月23日（火）午前10時00分～午前11時30分

■場所 府中市役所 北庁舎3階 第1・第2会議室

■出席者

<委員>

伊藤敏春、岡本直樹、久保寺治、須藤光忠、中島和子、馬場昌良、北島章雄、松崎哲也、真鍋美一、横手喜美子、吉村博子、和田光一（五十音順・敬称略）

<事務局>

福祉保健部長（柏木）、地域福祉推進課長（渡邊）、地域福祉推進課長補佐兼福祉計画担当副主幹（中澤）、地域福祉推進課社会福祉係長（中村）、高齢者支援課長（鈴木）、介護保険課長（時田）、介護保険課長補佐兼介護保険制度担当主査（阿部）、障害者福祉課長（山田）、障害者福祉課長補佐兼生活係長（笹岡）、健康推進課長（横道）、健康推進課長補佐兼成人保健係長（斎藤）、地域福祉推進課職員（更級、岡田）、株式会社生活構造研究所（半田）

■欠席者 櫻井誠、佐藤信人、平田嘉之、藤原佳典、（五十音順・敬称略）

■傍聴者 なし

■議事

- 1 府中市福祉計画策定のための調査報告書（案）についての報告について
- 2 次期府中市福祉計画策定にあたっての課題、基本理念、基本の仕組み及び基本視点

■資料

資料1 第3回福祉計画検討協議会の意見交換の論点について

資料2 次期福祉計画策定にむけた課題（案）について

資料3 次期府中市福祉計画策定の基本理念、基本の仕組み及び基本視点

参考資料1 府中市福祉計画等策定のための調査報告書（案）

参考資料2 府中市がめざす地域共生社会の考え方

参考資料3 次期福祉計画で取り組むこと（案）

開会

○事務局

皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本協議会は、3月以降、新型コロナウイルス感染症に対する拡大防止の観点から開催を延期してまいりました。その間、本市でも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員の在宅勤務や一部の事業を縮小するなどして対応いたしまして、計画策定に係る協議会・審議会の開催を見合わせざるをえない状況でございました。その中で委員の皆様へ連絡等の行き届かない点がございましたことは、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

また、本日は、ご自宅や入出時の検温の実施、またマスクの着用にご協力いただきましてありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前送付をいたしました会議開催における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策についてのとおり、室内の十分な換気を行っております。各委員にお座りいただいております座席の間隔も広げ、机、椅子、またマイクなどには消毒を施しておりますことをお知らせいたします。また、円滑な進行、質疑応答などによりまして開催時間の短縮が図れますよう、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただ今より令和2年度第1回府中市福祉計画検討協議会を開会いたします。それではまず、はじめに福祉保健部長の柏木よりごあいさつ申し上げます。

○事務局(柏木福祉保健部長)

改めましておはようございます。本年4月に前任の村越部長の後任として福祉保健部長に着任しております柏木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。委員の皆様には、日頃より市政各般にわたりご協力をいただいております。また、本計画の策定にあたりましては、ご尽力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、6月も下旬となり今年も半年が過ぎようとしております。新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの暮らし、生活は一変しているところでありまして、本協議会につきましても予定どおり進めることができず、新年度ようやく3か月経ったところで開催の運びとなりました。この計画はご承知おきのとおり、来年度が新たな計画期間の初年度となる計画でありまして、今年の秋口までには計画の素案を取りまとめ、そして答申いただくような流れとなります。

委員の皆様におかれましては日程が詰まっておりますけれども、ご理解いただいた上でこれまでどおりの忌憚ないご意見をいただき、事務局としても計画を取りまとめたいと考えておりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。結びとなりますけれども、委員の皆様のみまますのご健勝、ご活躍を祈念させていただいて開会に当たるごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

○事務局

それでは、議事に入ってまいります。これからの進行は、会長にお任せいたしたいと思っております。会長、よろしくお願い致します。

○会長

皆さん、おはようございます。先ほど事務局から説明ありましたが、新型コロナウイルス感染症関係でいろんなものが全部一度に止まってしまったということでございます。3密を避けるということで会議についても席を離す、間延びをなるべくしないように進行をさせていただきたいと思っております。

私事ですが、この2か月半、家に閉じこもりながら、大学はオンライン授業で相手の顔がなかなか見えないということで、かなり苦勞しておりますけれども、元気に乗り切っていきたいというふうに思っております。

それでは、第1回府中市福祉計画検討協議会を開催させていただきたいと思っております。本日もよろしくお願ひしたいと思っております。初めに事務局から本日の出席状況について報告をお願いいたします。

○事務局

はい、会長。本日の会議は、委員16名中12名のご出席をいただいております。

したがって、府中市福祉計画検討協議会規則第4条に規定する定足数を満たしておりますので有効に成立しております。なお、佐藤委員、平田委員、藤原委員、櫻井委員につきましては、都合により欠席とのご連絡をいただいております。

また本日も、後日の議事録作成をスムーズに行うため、本協議会の開催中は録音をさせていただきますので、ご了承くださいませようお願ひいたします。以上でございます。

○会長

ありがとうございます。では、続いて前回の会議録について、前回出席された委員の皆様には事前に会議録を送付しておりますけれども、事務局等に修正等の連絡はありましたでしょうか。

○事務局

はい、会長。前回の協議会の会議録につきまして、前回ご出席の委員の皆様には事前の確認をお願いいたしましたが、訂正や変更などのご連絡はございませんでした。今後、発言者名を伏せるなどした上で市政情報公開室、中央図書館、市のホームページで公開の手続きを進めてまいりたいと考えております。前回の会議録については、以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○会長

ありがとうございました。それでは、公開の手続きを事務局は進めてください。

さて、会議録の確認が終わりましたので、続いて本日の傍聴について事務局より報告をお願いいたします。

事務局

はい、会長。本日の傍聴についてご報告いたします。本日は、傍聴希望の方はいらっしゃ

いませんでした。以上です。

○会長

ありがとうございます。続いて、事務局から配付資料の確認をお願いいたします。

○事務局

はい、会長。それでは、配布資料の確認をさせていただきます。このたびは資料の配付が遅くなり、直前となりましたことをお詫び申し上げます。

(※ 事前郵送資料及び配布資料確認)

1 議題

(1) 府中市福祉計画等策定のための調査報告書（案）についての報告について

○会長

それでは、本日の議題に入りたいと思います。本日の議題は、府中市福祉計画等策定のための調査報告（案）についての報告と次期府中市福祉計画策定にあたっての課題、基本理念、基本の仕組みおよび基本視点となります。今回の福祉計画検討協議会では、前回の協議会で出された意見を基に計画策定の課題と方針、福祉計画の考え方をさらに整理していこうと考えております。それでは、まず、議題（1）「次期府中市福祉計画策定のための調査報告（案）の報告事項について」事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

(※ 議題（1）「府中市福祉計画等策定のための調査報告書（案）の報告事項について」説明（資料1）)

○会長

ありがとうございました。昨年、実施いたしました調査の結果から課題を大きく分けて3つ抽出させていただきました。それを事務局から説明していただきましたので、ご質問、ご意見などございましたら発言をお願いしたいと思います。何かございますか。

委員、お願いします

○委員

おはようございます。

これは、令和元年の12月時点の調査報告の内容をまとめているものでありまして、現在、新型コロナウイルス感染症がまん延し、今日に至っているわけです。安全・安心に暮らすなかで、いろいろなセレモニーに参加することで、皆さんに絆が生まれるというところから、今や先が見えない状態で、3密がどうしても絡んでくるということから、これをどういうふうに今後の福祉計画に盛り込んで、そして、さらに府中市の皆さんが安心・安全に暮らせるまちづくりの基本理念になるのかと思います。以上でございます。

○会長

ありがとうございました。大切な部分ですので、その辺について事務局、考え方ございますか。

○事務局

はい、会長。今、委員のほうでご指摘いただきましたとおり、今、社会情勢的には、そういった新型コロナウイルス感染症の関係で人と人とのつながりのなかでご不安を抱えている部分があるかと思います。

今後、計画案を策定するにあたっては、そういった社会情勢のほうも見ていながら、安全・安心のまちづくりという点でこういった部分を盛り込んでいくべきか、事務局からも提案させていただきながら委員の皆様にご協議いただきたいというふうに考えております。

○委員

ありがとうございます。

○会長

よろしいでしょうか。いずれにせよ今回の問題については、昨年の調査結果の報告書でございます。それから、かなり時代が変わり、変化がありました。ですから、計画書を作成する際には、しっかりと府中市としては、このように福祉計画でやりますよということを含めて対応していくということではよろしいかと思っておりますけれども、その辺いかがでしょうか。とりわけ福祉関係ですと、施設関係についてかなりしっかりと確認をしていくという形にしたいなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

その他何かございますか。ぜひ、こういうところを入れてほしいとか、こういうところが抜けているのではないかとこのところがございましたら、お願いします。内容であれば、とりあえず次の議題に進めた後にまとめて論議をさせていただきたいと思っております。

それでは、議題（２）「次期府中市福祉計画策定にあたっての課題、基本理念、基本の仕組み及び基本視点について」を事務局のほうから説明をお願いしたいと思っております。

○事務局

（※議題（２）「次期府中市福祉計画策定にあたっての課題、基本理念、基本の仕組み及び基本視点について」説明（資料２、資料３、参考資料１、参考資料２））

○会長

ありがとうございました。ただ今、事務局より次期の計画の基本視点、基本の仕組み、それから、福祉施策の考え方等について説明がございました。何かご質問、確認等がございましたか。前は２つの案を出していたと思っております。それで、皆さんの意見を集約すると案１のほうがいいのではないかと、しかし、案２も捨てがたいということで、それを再度構築して、こういう形で出てきたという形になるかと思っておりますけれども、その辺も含めてご質問、ご意見等ございましたらお願いしたいと思っております。

いかがでしょうか。ぜひ確認も含めてお願いしたいと思います。

委員、お願いします。

○委員

よろしくお願ひいたします。先ほどの調査結果から見た課題もそんなところも含めてなんですが、ここで挙げられております「みんなでつくる、みんなの福祉」というところでは、先ほど委員のほうからもありましたように、今回の新型コロナウイルス感染症の影響で生活困窮にもなりえる方が多くいることが懸念されていまして、その方たちへの生活支援等も含めて今後考えていかななくてはいけないのではないかとという点も前提にはなりますが、その課題解決に向けて、この計画ではまだ少し弱いかなというふうには捉えていました。

この「自助・互助・共助・公助」という、みんなで支えるというところについては、この方針に沿うところであるとは思いますが、「公助」の部分、行政が協働しながら、という部分についても、もう少し具体的などころも取り入れてもよろしいのではないかと考えています。

それと、先ほどの調査結果から見た課題の課題2のところ、「地域における情報共有と課題解決の仕組みづくり」につきましては、調査のなかでもいろいろな分野からのご意見がありました。文化センター圏域でいろいろな相談を受ける場というところは高く評価していい考え方になっていくかと思うのですが、課題解決に向けていかないと、また、どうやって課題を解決していくかというツールが相談を受ける者にないと、そこで相談を受けたところで、ワンストップでの相談解決に向けることが弱くなってしまわないかと思ひます。

現在の府中市における福祉サービス、また介護サービス等も含めて多様な課題に対処できるようなサービスは、ある程度は展開できていると私としては評価しておひまして、こちらにもネットワークづくりというところに書かれてはおりますけれども、今の既存のサービス等をより連携できる仕組みづくり、どのようにつなげていくかというところを、行政で導いていけるように、この計画に盛り込んでいくことが望ましいと考へ、意見を出ささせていただきます。以上です。

○会長

ありがとうございます。基本的には、新型コロナウイルス感染症の影響によるセーフティネットの問題が出てくるだろうということでありまひす。それともう一点は、ワンストップで対処できるシステムというのをどういう形で行政がつくっていくのかというのが、いま出てきた問題だと思ひますけれども、その辺について事務局お願ひいたします。

○事務局

貴重なご意見ありがとうございます。福祉施策につきましては、先ほどご意見もございました生活困窮に対する取組ですとか、引き続き公的サービスを中心に行っていくものですか、委員からご意見がございました、既存のサービスを連携させていく、そういった点も考へていくべきものかと思ひます。

また、協働は、市民の活動や参加により進めていくものであり、そういった取組によって、今後福祉サービスを展開させていくという必要があるものと考えておひます。いただきまひ

たご意見につきましては、整理をしまして、今後の計画案の中でも検討してまいりたいと考えております。

○事務局

会長、説明を補足させていただきます。お話しいただいたセーフティネットの充実やワンストップについては、本福祉計画は個別計画の上位に当たるような理念を形づくる計画となっておりますので、セーフティネットの充実や、ワンストップにつきましては、各分野の個別の計画で具体的なものを形づくっていきたいと考えております。

お話がありました各サービスや地域資源の充実によって地域力を上げていく際に、誰がどのようにコーディネートしていくのかも課題の一つではないかなと捉えています。そういった部分につきましても今後、地域福祉計画では支え合いの仕組みづくりがメインになってまいりますので、具体的にうたっていくようになると考えております。

○会長

委員、よろしいでしょうか。その他、何かご確認、ご質問等がございますか。

委員、お願いします。

○委員

前回欠席をしてしまったので、話がよくつかめていないところがあるのですが、全体的な基本理念の部分では問題はないと思っております、その中に入る細かい部分に関しては、これから議論していくということになるかと思えます。

先ほど新型コロナウイルス感染症の話も出たので、この期間の施設の状況をお話したいのですが、私は府中市福祉作業所等連絡協議会の代表として、通所施設の場所の問題を取り上げたいと思います。障害者の通所施設は場所が狭く、一部の施設では休業という形で休んでいたところもありますし、なるべく自宅にいられる人はいてくださいとお願いして通常の半分くらいの人数が通ってきていたりする施設もありました。すぐそばで食事をする、そばにいないと作業ができないといった問題があります。一軒家を借りていたり、アパートを借りていたりしている施設もまだあるので、市で何らかの支援をしていただかないと厳しい状況なのかなと思っています。

そのため、次期計画を作るなかでは、通所施設がどういう形で安全に運営ができるかということもしっかり考えていってほしいと思っています。また、障害者の施設だけではなく高齢者のデイサービスも小さな事業所が多いので、場所の問題について危惧をしているところです。

本年4月施行の「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律」では、地方公共団体による障害者活躍推進計画の作成と公表がうたわれています。府中市では、障害を持った人をどう雇用していくかについて、職員課が検討をしているということですのでよろしくをお願いします。

また、「障害者優先調達推進法」というものがあり、府中市では、障害者福祉課が中心となって推進していただいているのですけれども、それを今後の計画の、「支え合う福祉の実現」

というなかで、うまく情報発信ができるよう入れていくことができないかなということも思っているところです。

○会長

ありがとうございます。その他、よろしいですか。

委員、お願いします。

○委員

新型コロナウイルス感染症の関係で、民生委員・児童委員が対面することができない状況になっております。会議もなかなかできず、新しく昨年12月に新任された民生委員の方々も活動を自粛しており、なかなか活動できない状況です。民生委員も、一人だけでは活動ができないので、ここで言われる自助・互助・共助・公助のなかで地域に住まわれている自治会が一番身近な相談相手になっているのではないかなと思っております。

府中市の自治会・町会には、昔ながらの自治会組織と新しい自治会組織があると思っております。昔ながらの自治会は本当に隣近所で運営されているように思いますが、新しい自治会ではまた雰囲気違って、大震災等に対してどうやって対処したらいいかということをお話しているような自治会もあります。一方で、昔ながらの自治会というのは、そうではなく近所のことやお祭りが話題になっていたりするという環境で組織が運営されているところもあります。行政側のほうも、自治会をすべて同じひとつのものとするのではなく、さまざまな自治会があるという解釈を持って見ていただけたらと思います。

○会長

ありがとうございます。その辺についても、また後で事務局から答えてもらいたいと思います。

委員、お願いします。

○委員

参考資料2で、理解できないところがあるのですが、課題を「丸ごと」受け止める支援体制やネットワークの充実と書かれていますが、課題を「丸ごと」受け止めるという、この意味合いが分かりません。課題というのは、より選別しないと問題解決に至らないのではないかというのが私の考えです。これを「丸ごと」受け止める支援体制やネットワークとは、どのようなことを指しているのか、ちょっとイメージが湧かないので教えていただきたいと思っております。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

参考資料2の4つ目、課題を「丸ごと」受け止める支援体制、ネットワークが充実してい

るということは、国の地域共生社会の定義でもそうした整理も行っておりまして、課題につきましては地域住民の方が地域の多様な主体と我が事として地域の活動に参加し、またそういった地域での課題について解決していくための取組というのを考えつつ、地域を共につくっていくという地域共生社会の考え方に基づいて、そういった課題について支援体制やネットワークを構築していく中で、その課題解決に向けた支援を行っていくということで、こちらから挙げさせていただいております。

○事務局

補足させていただきます。「我が事・丸ごと」というような考えがあるわけですが、さまざまな課題がある問題点を他人事と考えず、丸ごと、皆さんで受け止めて皆さんで解決していきましょう、というような考え方が大きくございます。

その中でもそれぞれの細かな課題はもちろんございますので、そういった部分は、対応する部署でまとまって対応できるものは対応していく。またそこが無理であれば、さらにネットワークを広げて対応していく、ということによって、丁寧に一つひとつをつないでいって、皆さんで支援していきましょうというような考え方です。

もちろん課題がひとつで、一気に全て丸ごと一回で解決することができるというようなことではなく、細かい課題がもちろん出てまいりますので、そのような課題は細かく整理したうえでその問題を他人事ではなく自分事と捉え、地域の課題として考えていたり、それを地域や相談機関などで受け止め、そこで解決できなければ、さらに連携するネットワークを広げて解決していきなりするという考え方を示しているものです。

○会長

よろしいでしょうか。地域のなかにはいろいろな問題あります。問題があったものをひとつの課題としてやらなくてはいけないわけですね。課題は、ある程度整理をしてから、支援体制やネットワークにつないでいくわけですがけれども、そういうなかで他人事とは考えないようにして、一つ課題を整理していこうというのがこの流れだと思います。それらを、最終的には「丸ごと」と言っていると思います。

その辺も含めて、今後論議をしていけばいいかと思えますけれども、では府中市は、どういう形で「丸ごと」をシステム化していくのかということが問題だと思いますので、その辺について今後皆さんと一緒に話をさせていただければなと思います。よろしいでしょうか。

委員、お願いします。

○委員

新型コロナウイルス感染症のことがあって、市の職員の皆様も本当に大変な中、こういった計画案を作っていただいて大変にありがとうございます。資料3の次期府中市福祉計画（案）、基本的な柱というのは私もこれでいいのではないのかなと拝見して思っています。ですので、私は本当に感想になりますけれども、本当にこれからこの柱を元に、どのように行動していくのかとか、こういった形でやれるのかということを考えるにあたり、どうしても新しい社会の流れに沿って考えていかなければいけないなということを感じています。

私は、PTAの会長をさせていただいているので、PTAの組織や、また地元の自治会の組織も見ている、本当にこれからさらに地域とのつながりが大切だと思っています。ここでもずっとテーマの一つとしてあがっていると思いますが、「つながり」を大切にするという考え方を進めていくにあたって、今回の新型コロナウイルス感染症のこの状況というのを、どうクリアしていくのか大変悩んでいるところです。ただ、これがすべて悪いものでもなくて、むしろこれは新しい社会の流れ、新しい一人ひとりとのつながりをつくっていく方向を模索する、よいチャンスなのかなというふうにも考えているので、新しい生活スタイルに合わせた一人ひとりのつながりの持ち方というのを、これから考えていく必要があると思います。

また、ここで、世代間のギャップが大きく出てきたな、ということも実感しています。一人ひとりと直接お目にかかってお話ができない。では、インターネットでできるようにすればいいのではないか、あるいはSNSを使えばいいのではないか、という意見もありますが、すぐにぱっと対応できる世代がいる一方で、なかなかできない方々もご近所にたくさんいらっしゃいます。そうした方々をどう巻き込んで、世代を超えて、地域とつながっていくのかということ、答えがすぐ出るものでないのですが、考えていかなければいけないと思います。

また、資料3の次期福祉計画（案）基本視点の4に「いつでも安心して暮らせる福祉の実現」とありますが、どんなことがあっても、いつでも安心して暮らせる福祉の実現という、この「いつでも」というのは、ひらがな4文字ですけれども、とても難しいと思っています。これは今後また皆様と、いろいろご相談しながら詰めていければいいなと思います。

やはり一人ひとりが、他人事ではなく自分事として受け止めていくという考え方を、次世代にもしっかり伝えていかなければいけないと強く感じています。そして、こういった考え方を福祉だけではなく教育分野でも、きちんと取り込んでいけたら、何十年先ということも見据えて取り組むことができるのではないかと、ということを実感しました。

○会長

ありがとうございました。貴重な意見ですので、それらを含め、今後、福祉のまちづくりや高齢者分野の計画にも具体的に表わしていければよいと思います。大前提として、新しい生活スタイルになってきていることを実感し、府中市はそれを受けて、それらにどういう形で対応していくのかを、ぜひ福祉の分野でやっていただきたいと思います。

委員、お願いします。

○委員

私は今年77歳になりますので、皆さんを支えるより支えられるほうの立場になると思っています。一点だけお話ししたいことがあります。災害時要援護者のことですが、災害が発生するとそうした方々を、町内や各自治会の方が避難所に連れていくことになると思いますが、そこでの司令塔は、やはり府中市だと思っています。その体制は取れているとは思いますが、そうした責任者が、府中市の方では、何人ぐらいいるのかということが、私は心配です。私が役員をしていた頃、仮に災害が起きると、担当している地域の避難所に、300人、400人、あるいは1,000人ぐらいが避難所に来られるのではないかと想定されてい

ました。そうなる、それを担うには、福祉といった縦割りではなく全体の中で行われることが必要になると思いますが、それが多々心配なので聞きたいと思いました。

○会長

事務局、お願いしたいと思います。

○事務局

はい、会長。災害時のというところでございますけれども、実際に要援護者の方も含めて避難された方々が避難所に到着するわけなのですが、そういったことの核となる部分は地域防災計画等が策定され、防災危機管理課がトータル的に取りまとめております。また、要援護者に関わる部分となりますと、高齢者福祉、障害者福祉の部門とも連携して対応していくということになるかと思っております。具体的に責任者が何名いるかというようなお尋ねでございますけれども、どこまでを責任者と呼ぶかは分かりませんが、災害が起きて避難所が開設されれば、そこに担当者として市職員が配置されることになっています。

今回も分野別の計画策定のために郵送による意識調査を行いました、やはり災害というところにつきましては、皆さん関心が高いといえますか、例えば介護に関係がない人は介護に関する問いには全然反応がないのですが、災害対策という課題に対しては皆さん関心を示していただいているというようなことがございます。そういったことから、今後、福祉計画の主な取組を定めていくわけですが、その項目にも災害への対応という項目が必要なのではないかというところは考えておまして、次の福祉計画では災害対策の部分を少し強調させていただくようなことを想定しております。そういったなかで福祉分野と他分野の連携という、仕組みづくりのところもお話させていただいておりますし、安心・安全というところにも関わってきますので、そういったところにつきましても福祉計画で盛り込めるものは盛り込んでいきたいと考えてございます。

○会長

よろしいでしょうか。

○委員

よろしく申し上げます。

○会長

それでは、委員、お願いします。

○委員

こんにちは。私も77歳になり、今いろいろ感じていたのですが、新型コロナウイルス感染症禍のなかでもとも勉強になったこと、反省すること、それから、支えられてきたことを実感しました。いかに友だちや周りの人に助けられていたかということ、この2か月ぐらいで実感しました。福祉のサービスを受受したい気持ちもありますが、夫が83歳になり、

しっかりとしてはいますが、忘れ物をしたり転んだりするようにもなり、介護施設などに入ってもらえれば私は楽になるのですが、いまのところはそういう気持ちがないので、いつかこの福祉計画を享受する時が来るかもしれませんけれども、今のところは皆様の手を借りずに、自分自身で解決して生きていければと思っているところです。府中市のこの計画を見て、府中市に住んでありがたいと思っております。

○会長

ありがとうございました。
委員、お願いします。

○委員

ここで資料を見せていただき、いつでも安心して暮らせる福祉を実現していくということが、本当に大切だと感じました。最近、高齢者の方々の話をお聴きすると、家の中で転んで骨折し一晩中誰も助けてくれる人がおらず、翌日初めて救急車で運ばれたという話などもお聴きすることがあり、本当に隣近所の支え合いというものが実現できていないということを感じているところです。自治会・町会のことがいろいろ書かれていますが、それよりも、まずはあいさつができること、隣同士のお付き合いができるようになることが大切だと思っています。やはり自分に何かあったときに、もう自分しか連絡する人がいないことの現実が、身に染みて分かってきたのです。だから本当に、毎日ごあいさつして、ご近所のお付き合いができて、一人ひとりがいつでも安心して暮らせるようになる府中市を、目指していきたいと思っています。

○会長

ありがとうございました。
委員、お願いします。

○委員

次期府中市の福祉計画（案）の資料3の右側を見させていただいて全体的によくまとめられているという感じです。

私は自立生活支援センターとあって、障害を持っている方が地域でどう生活していくことを支援していく団体で活動をしています。新型コロナウイルス感染症禍の影響で、既往症がある方、特に呼吸に障害がある方もいらっしゃる中で、そういった方には自粛してもらってご自宅で家族と生活してもらっているのですが、利用者との間ではオンラインでZOOMの利用などもしています。これまで自粛のなかでは、面会ができない状況にあったのですが、逆にそういったオンラインを活用すれば、いろんな方々と関わりができるということだけでもわかってよかったと思います。

w i t h コロナの時代は、新しい生活様式が前提になっていくと思うのですが、こういった福祉業界にいと、なかなか疎遠になってしまうようにも感じています。

そうしたなかで、この計画で、基本視点3を「市民協働」で、ということがいいなと思って

います。「障害があるなしに関わらず、高齢であろうと若い子ども」も、「みんなが主役」になれる取組ができる計画が実現していけばいいと思っています。

また、「いつでも安心」ということは大切なキーワードかなと思います。府中市ではサービス利用の際に、独自のルールがあるがゆえに連携しづらくなっているケースが山積しているというように感じています。私はALSの支援をさせていただいて、府中市内にお住まいの方を支援させていただいているのですが、府中市のサービスには利用するために独自のルールがあり、そのルールにマッチしないとサービスを使えないことがあります。今後はさまざまなサービスと連携すればよいと思います。

一つだけ、課題の集約のところだと思うのですが、以前札幌市で、障害を持っている方の自立支援協議会で活動をさせていただいたとき、「まちの課題プロジェクト」というのをさせてもらったことがあります。何をするかというと課題を集めて交通整理をするという場だったのですが、皆さん活動のなかで課題だと思っても、なかなか実際にそれに取り組むというのは本当に一握りで、やろうと思わないとできないのが現状でした。しかし、どこかで課題をどんどん出して共有する場は必要ですし、集めて整理してどういうふうに行うかの実行するかの検討も必要です。国が言っているのは、いっぺんにはできないので、そういったことを蓄積しながら解決策を練っていく、ということだと思っています。

○会長

ありがとうございます。

副会長、お願いします。

○副会長

お疲れさまでございます。私は、この計画を絶対進めなければいけないと思っております。というのは、少子・高齢化という状況を前提にこの計画が始まっております。第1回の東京オリンピックが昭和39年にありましたが、日本が戦争に負けてから18年でオリンピックを開催することができたのは、恐らく当時「地域力」があったからだと思います。若い子がほとんどいないのですから。今で言えば、自治会組織だとか、いろんな組織の力だと思います。

私も自治会長をしております。もちろん子ども会もあり、老人会もありますが、そういうなかで、やはり「支え合い」がこれからの時代を生きていくために必要だと思います。ただ、気づいてからではなく、ぜひ元気なうちから地域の中に出ていただき活動していただきたいと思います。

ここにいらっしゃる委員の方々は、それぞれが各組織の代表で来ております。ぜひこの問題を持ち帰っていただき、組織のなかで現在の地域での取組みと、これから必要なことについて話していただけたらと思います。

現在、社会福祉協議会では、文化センター圏域で「わがまち支え合い協議会」の活動に取り組んでいます。地域福祉コーディネーターも増え、いろいろな問題に取り組んでいるところですが、買い物やごみ出しの支援、そしてよく横断的な取組と言いますが、例えばごみ屋敷が問題になっていますが、ただごみ屋敷の問題を解決するというのではなく、そこには

例えば障害のある子どもが住んでいることがあります。そうしたなかでその子どもの問題も解決していこう、ごみ屋敷の土地の問題も解決していこう、ということは、まさに横断的な取り組みでないと解決できないと思います。皆さんと力を合わせて、これからも「みんなで作る、みんなの福祉」、つながりを大切にしながら一步でも進めたらいいかと思います。

○会長

ありがとうございました。皆様の意見をまとめると、府中市福祉計画で基本的なことをやっていき、個別の課題については個別計画で取り組む、ということによろしいかと思えますけれども、その辺よろしいでしょうか。それでは、この基本的な視点については、これでお願いをしたいと思えます。

いずれにせよ、先ほど委員が言いましたように、「みんなが主役」なのです。そのなかでいかに自分がやれるところをやっていくかということから始まっていくことを、ぜひ頭の中に入れていただきたいと思えます。

さて、それでは少し時間がありますので、参考資料3の次期福祉計画で取り組むこと（案）を事務局からご説明をお願いします。資料を配布の後に説明をしていただいて、次回以降論議をするということになりますので、よろしくをお願いします。

○事務局

（※ 「次期福祉計画で取り組むこと（案）」説明（参考資料3））

○会長

ありがとうございました。今、事務局から、次期福祉計画で取り組むことの提案がありました。次回詳しく議論しますが、今、何か感じたことやご質問等ございますか。

私からの提案なのですが、福祉計画で取り組むこととして4つ出ています。郵送調査などを実施して、今までやってきたことも含め、再構築をして新しい計画にするのですが、皆さんからも意見がありました新型コロナウイルス感染症禍によって生活様式が変わってきている状況がありますので、新たに「新しい生活様式への支援」といったテーマなどを追加することができるでしょうか。市民生活への支援や、施設も含めた支援のシステムをどうつくるかを考え、5つ目に追加の形で書ければ一番いいのかな、と思っています。いかがでしょうか。

委員、お願いします。

○委員

ありがとうございます。まず会長からもありましたように、こここのところの今回の新型コロナウイルス感染症の拡大防止で、今まで各家庭、また個人が取り組んできたものを生かして今後の新しい生活にどう取り組んでいくかというのは、それぞれのご意見があるかと思えますので、ぜひこの計画で協議していただく案にさせていただけたらなと思えます。

また先ほど委員からもありましたように、当面、施設でもご家族との面会もできなくなっている状況で、先ほどのZOOMでの面会などを進めるなど、少しでもこの状況のなか

で安心していただくような取組をしているところなのですが、そうした環境整備を今後は考えていかなくてはいけないのではないかと考えています。

それから、機器の扱いが苦手な方からは、在宅の方からも相談があったりしますので、発信できる場所は福祉施設やご近所同士の関係のなかで使い方を伝えられような、「地域力」をつくり上げられることが、望まれるのではないかなと考えております。そんなところでぜひ取組を協議いただければと思います。

○会長

ありがとうございます。

○委員

もう一つよろしいですか。この取り組むことの一つとして、福祉エリアの見直しによる地域力の強化について、先ほど課題解決に向けての仕組みづくりというところでお話をさせていただきましたが、このなかでも、既存組織等の持っている力、取り組んできている基盤というのが大切だと思っています。

例えば、民生委員さんの10年、20年来の地域での基盤づくり、またそういうところがあってこそ、今の関係づくりを知った上で課題解決に向けたり、地域での悩みごとや課題の抽出もしていただいたりしているところかと思っています。その基盤を崩さず、生かしながら、地域力を強化していくというのが大切なことではないか、と感じました。

○会長

ありがとうございます。事務局、何かありますか。

○事務局

今のお話は承りました。まさに今のご意見で地域力の強化について、基盤、今の既存のものがあってということございましたけれども、我々も現在ある地域資源を活用して新たな協働、新たな仕組みをつくって地域力を上げていくということを考えてございます。既存の団体の方々が動きにくいようなものになってしまうのは、地域力の強化というところにはつながらないのかなと考えておりますので、その辺りの進め方については丁寧に進めてまいりたいと考えてございます。

また、先ほど会長からお話ありました新たな生活様式の項目につきましては、どのような形で盛り込めるか今後、事務局でも検討させていただきたいと思います。例えば(4)に含める形にするのか、お話いただいたように新たな項目として出していけるかということも踏まえまして、再度検討させていただきたいと考えております。

○会長

ありがとうございました。その他、何か確認しておくことございますか。次回以降、具体的なものについて協議をしていくという形になるかと思っています。よろしいでしょうか。それでは、これで本日の議題は以上です。

続いてその他について事務局よりお願いします。

○事務局

次回以降の協議会の開催についてお知らせをいたします。今回は、令和2年7月の開催を予定しております。委員の皆様には、7月から9月の開催日程を調整させていただくための表を配布しておりますので、事務局までご提出をお願いいたします。事務局で取りまとめ、開催日程が決まり次第、ご連絡いたします。

○会長

ありがとうございます。それでは、以上で本日の議題は全て終了いたしましたので、本日の福祉計画検討協議会を閉会させていただきます。この非常事態のなか、出席いただきまして本当にありがとうございました。

以上